

議員全員協議会

日 時	平成30年12月17日（月） 開会中	午後 12時58分 開会	午後 14時05分 閉会
場 所	相良庁舎 4階 大会議室		
出席議員	議長 16番 太田佳晴 副議長 15番 鈴木千津子		
	1番 鈴木長馬	2番 濱崎一輝	3番 原口康之
	4番 吉田富士雄	5番 平口朋彦	6番 藤野 守
	7番 大井俊彦	8番 名波喜久	9番 植田博巳
	10番 村田博英	11番 良知義廣	12番 澤田隆弘
	13番 中野康子	14番 大石和央	
欠席議員			
事 務 局	局長 植田 勝 次長 前田里芳 書記 大塚康裕 書記 北原大輔		
説 明 員	市長、副市長、教育長、建設理事、政策理事、総務部長、政策監		
	企画政策部長、産業経済部長、教育文化部長、福祉子ども部長		
	秘書政策課長、情報交流課長、管理情報課長、商工企業課長		
	社会福祉課長、政策推進係長、情報交流係長、入札検査係長		
	企業立地係長、社会福祉係長		
傍 聴			

署名 _____ 議長 _____

[午後 12時58分 開会]

開会の宣告

○議長（太田佳晴君）

それでは皆さんこんにちは。本会議の開会中、また年末の多忙なとき、午後からの全員協議会ということでお集まりいただきまして、ありがとうございます。

ただいまより、全員協議会を始めたいと思います。

2 市長報告

○議長（太田佳晴君）

最初に市長報告ですけれども、今回市長のほうから6件ありますけれども、最初の3件、新春初顔合わせ会までと、最後の中国海南省の訪問については、これは最初に市長から4件一括して報告してもらいます。

その後に、第2次総合計画と第3次地域福祉計画については、これは市長、担当課のほうから報告してもらいまして、これについては個別で質問をするようにします。

その全てが終わった後に、最初の4件と総括的な質問を皆さんからいただくようにしたいと思いますので、よろしくをお願いします。

それでは市長、お願いします。

○市長（杉本基久雄君）

それでは皆さんこんにちは。議会中ではありますが、全員協議会ということで、私のほうから、今、議長からお話ございましたように6件の報告をさせていただきたいと思います。

それでは、まず1点目ではありますが、クルーズ船の乗船研修についてということでございます。資料はございません。皆さんのところへはいろんな日程等、もうお手元に届いているかと思いますが、明日、明後日のクルーズ船の乗船研修につきましては、よろしくお話をいたします。

そして、10月の全協でも説明させていただきましたが、今回は体験乗船と寄港による経済効果等についての研修を船上で予定をさせていただいております。そして、今回の牧之原市からの研修参加者は客船誘致協議会の会員である商工会やJ A、あるいはおもてなしの会などに参加をしていただくということでございます。八十数名の、90名弱の参加というふうになっております。

そして、少し今までお伝えしていないかもしれませんが、今日ちょっと御前崎から話があったのですが、乗船中の避難訓練みたいなのがあって、船外というか屋内から屋外へ出る訓練もあるようですので、寒くないコート等の準備もしていただいたほうがいいのではないかと。防寒着の準備もしていただいたほうがいいのではないかとということがあったものですから、お伝えをさせていただきます。

そして、2点目ですが、観光協会に係る指定管理者選定委員会の開催についてということであ

りますが、こちらについても資料はございませんが、指定管理者選定委員会を12月10日に開催いたしましたして、観光協会が指定管理者を受ける際に付された7項目の附帯条件につきまして、観光協会から出された改善計画の履行状況等について確認を行ったということでもあります。

所管の観光課と観光協会の職員らのヒアリングを行いました。次回は12月20日に開催をして、今回のいろいろな最終評価を行うということでもありますので、お伝えをさせていただきます。

また、来年度ですが、少し行政報告の中でも触れさせていただきましたが、組織の再編に向けて、シティプロモーションあるいは観光を含めた外部組織等を現在検討しているところでございます。また、内部で調整ができたところで議会の皆様にも報告をさせていただきたいというふうに考えているところでございます。

そして、3点目でございますが、新春初顔合わせ会についてということで、こちらも資料ございませんが、またこれにつきましては、1月4日にうおともで恒例の新春初顔合わせ会を開催します。議員の皆様にはご案内通知を差し上げておりますので、ご臨席をいただきますようお願いを申し上げる次第でございます。

市内の団体や企業の代表者、行政にかかわる皆さんにお集まりをいただきます。新年の挨拶とともに、情報交換の場としていただければありがたいと思っております。

会場には、静岡牧之原茶、市内の菓子店の自慢のお菓子など用意させていただいて、おもてなしをさせていただく予定でございます。例年のとおりというふうにお考えいただければよろしいかと思えます。

年始めでお忙しいとは存じますが、よろしく願いをいたしたいと思えます。

時間は、午後2時から1時間半ほどというふうに予定しておりますので、よろしく願いをいたします。

そして、4点目でございますが、中国海南省万寧市訪問についてということでもあります。資料3がございまして、アメリカ合衆国と中華人民共和国のホストタウンに登録され、事前合宿の受け入れや、さまざまな交流事業を推進しているところでございます。平成31年1月11日金曜日から15日火曜日までの四泊五日で、平成31年度における強化合宿の誘致及び事前調整のための中国サーフィンの拠点でございます。海南省万寧市のサーフィン関係者を訪問いたします。

こちらの訪問につきましては、横山副市長、情報交流課職員、日本サーフィン連盟静岡2区から推薦されたサーフィン関係者で行く予定でございますので、ご承知おきいただきたいと思えます。

そして、今後は担当課からの報告事項になりますが、まず1点目は、第2次総合計画後期基本計画案に対するパブリックコメントの実施結果についてということでございます。資料1-1、1-2をごらんいただきたいと思えます。

11月8日の総務建設常任委員会協議会でパブリックコメントの意見募集の状況について、報告をさせていただいたところでございますが、出された意見の取り扱いについて担当課より報告をさせていただきますので、よろしく願いをいたします。

また、担当課の事務的なミスで1名1件の落としがございましたので、あわせて報告をさせていただきます。

担当課からよろしく申し上げます。

○議長（太田佳晴君）

秘書政策課長。

○秘書政策課長（大石光良君）

秘書政策課です。よろしくお願いいたします。

それでは、資料の1-1と1-2をごらんいただきたいと思います。

最初に1-1からご説明をさせていただきます。先ほど市長のほうから話がありましたように、1件落としがあったというようなことで、内容のほうをちょっと訂正させていただきたいというふうに思います。

なぜ落としがあったかということでもありますけれども、その辺についてはメールで提出された意見でございまして、その意見について誤って別のフォルダに保存をされてしまって、担当が確認をできなかったというものが1件ございました。その関係で1名1件の意見を追加させていただいて、訂正をさせていただきたいと思います。

2番の意見の提出状況ということで、意見数というふうに書いてありますけれども、前回は13名で35件ということで報告をさせていただいたところがございますが、1名1件の意見が漏れていたということで、今回は1件分を追加させていただいて訂正をさせていただきます。

事務の不手際につきましては、おわびを申し上げるとともに、再発防止に努めてまいりたいと思います。保存の仕方とか、その辺についても再度、こちらのほうでも確認をさせていただきまして、今後このようなことがないように対応していきたいと思いますので、ご理解のほう、よろしくお願ひしたいと思います。

2番の（2）の提出された意見の概要ということでもありますけれども、今回落としがあった意見としましては、各施策というところに書いてありまして、アンダーラインが引いてある、スポーツ施設に関すること、スポーツ振興と地域活性化に資するアリーナの建設というようなことで要望の意見がございました。これについては、資料1-2をごらんいただきたいと思います。

こちらの意見の3ページ目のところに20番ということで、こちらの意見が落としがあったという意見でございます。ここに書いてある内容をかいつまんで説明させていただきますと、老朽化した体育館等を廃止して交流人口の拡大やにぎわいの創出、地域の活性化をも視野に入れた新体育館、アリーナの建設を要望しますというようなことでございました。

その施設については、有事の際の避難所施設として活用を考慮して防災拠点の機能を十分に発揮できるような場所への建設を希望しますというようなご意見です。

それでは、また再度1-1の資料のほうに戻っていただきたいと思います。今見ていただいた各施策のところ、雇用や働き方に関することというのと、もう一つ東京五輪サーフィン競技ホストタウン事業に関することということで、アンダーラインをさせていただいてありますけれど

も、今回はこの二つの内容については、基本計画のほうに盛り込むような形で修正をかけさせていただいております。

資料の裏面をごらんいただきたいと思います。3のところ、意見への回答ということで、先ほど見ていただきました資料2-2というのが、ホームページとかに掲載をさせていただいているものと同様のものをごさいますて、意見としてはこういうような形で返らせていただいているということをごさいます。

具体的な事業へのご意見でありますとか、アイデアにつきましては実施計画の検討とか事業の実施をする際に参考にさせていただくということで考えております。

4番のところ、意見に対する後期基本計画への修正箇所ということで、2カ所書かせていただいております。

まず1点目が、政策3の産業経済の部門の中に施策で2としまして、企業誘致と雇用確保という項目がございます。ここの中に雇用の確保という項目があるわけなんですけれども、そのところに一番下のところに、右側に改正後のところにアンダーラインを引いてありますけれども、ここに書いてあるように雇用情勢の変化やICTなどの科学技術の進歩に対応し、将来の市民の暮らしを支える多種多様な働き方を実現するための環境づくりを進めますというような文言を追加させていただくものが1点目でございます。

もう1点目が、政策6のところ、市政経営という項目がございます、その中に施策5というので、情報発信とシティプロモーションの推進という項目がございます。このところで、左側のぼつのところでは、一つの文章になっているわけなんですけれども、この辺を内容をもう少し充実させるような形で記載をさせていただいたのと、マリンスポーツ、マリレジャーの関係については、別文章として組み立てをさせていただくということで修正をさせていただきたいと思っております。

内容としては、オリンピックの関係については、気運の醸成を図るということと、大会後の継続してインバウンドの確保を図っていきますというようなことで、大会だけの一過性のものにするのではなくて、その後についてもインバウンドの確保を図っていきますというような文言をつけさせていただいております。

マリンスポーツの関係については、項目を別に記載をさせていただいているというような内容の書き方でございます。

総合計画の関係については以上です。

○議長（太田佳晴君）

ただいま報告は終わりました。ただいまの件につきまして、質問がありましたらお願いします。

平口議員。

○5番（平口朋彦君）

落としがあったということで、今後再発防止策はしていただけるということなのであれなんですけれども、落としがあったことがわかったのは、パブリックコメントを寄せていただいた方から

の報告でわかったのか、こちらのほうで改めて再チェックして気づいたのかどうか。

○議長（太田佳晴君）

秘書政策課長。

○秘書政策課長（大石光良君）

その点については、うちのほうで確認をさせていただいて、ご本人のほうにもこういうような落としががあって申しわけなかった。お答えとしては、こういうようなお答えをさせていただきますというようなこととお話をさせていただきますして、ホームページのほうにも、その内容で掲載をさせていただきますというようなことで報告をさせていただいたところでございます。

○議長（太田佳晴君）

平口議員。

○5番（平口朋彦君）

私、これすごい関心を持ってちょいちょい見ていたんですけど、多分私が見たときには、もう既に36件だったので、その前を見てはないんですけど、その前は35件で掲載していて、追加でしたということですか。

○議長（太田佳晴君）

秘書政策課長。

○秘書政策課長（大石光良君）

そのとおりです。内容のほうを修正させていただいて、再アップさせていただいたという形です。

○議長（太田佳晴君）

ほか、質問はありますか。

秘書政策課長。

○秘書政策課長（大石光良君）

前回、ちょっと議会の皆様には新市建設計画の関係でパブリックコメントをやりますということでご報告をさせていただきましたけれども、そちらのほうの締切が11日ということで、実際に1件、ご意見がございましたが、県の事業の関係についてということで、市の計画の内容については特に修正を求めるものはなかったということで、ご報告を合わせてさせていただきます。

○議長（太田佳晴君）

ほか、質問はありませんか。

それでは、ないようですので、この件についてはこれで終了します。

市長。

○市長（杉本基久雄君）

それでは、次に第3次地域福祉に係るパブリックコメント（意見募集）の実施について報告をさせていただきます。

現在、平成31年度から5年間の第3次牧之原市地域福祉計画の策定作業を進めているところで

ございます。配付させていただいた計画案をもとに、地域福祉推進協議会において意見聴取をさせていただきます、12月28日から計画に対するパブリックコメントを予定しておりますので、その概要について担当課から報告をさせていただきます。

○議長（太田佳晴君）

社会福祉課長。

○社会福祉課長（櫻井康章君）

社会福祉課の櫻井でございます。

今年度、策定作業を進めております、第3次地域福祉計画に係るパブリックコメント、意見募集の実施についてご案内をさせていただきます。

資料2-1をごらんください。最初に、計画の概要とパブリックコメント実施の趣旨でございますが、現行計画であります第2次牧之原市地域福祉計画が、本年度で計画期間満了となることから、現在地域共生社会の実現に向けた次期計画の策定作業を進めております。計画期間は平成31年度からの5年間とし、現行の第2次計画と同様に、地域福祉の担い手として活動する、社会福祉協議会の地域福祉活動計画と一体的に作成をいたします。

計画素案の作成に当たっては、平成29年度から、公募の市民、福祉団体、専門機関の方々から構成された、地域福祉推進協議会において、現計画の取組評価を始め、次期計画の基本理念や基本目標の協議を行うとともに、並行して市民アンケート調査を始め、若者や地域リーダーとのワークショップなどを通じ、市民の皆さんのご意見をお伺いし、地域福祉施策への反映を目指してまいりました。

このたび、さらなる市民の皆さんの参加の機会を確保するため、2、募集する意見のとおり、現段階での計画素案に対するパブリックコメント、意見募集を実施いたします。意見の募集期間は3のとおり、12月28日から、来年平成31年1月26日までの30日間を予定しております。

意見を提出することができる者は、4のとおり、市内に在住、在学、在勤する個人または法人等の皆さんでございます。

計画案については、市のホームページに掲載するほか、両庁舎での紙面による閲覧も行えます。パブリックコメント実施に関する周知につきましては、12月の広報まきのはらでの実施案内のほか、市ホームページでの案内を掲出してまいります。

今後の予定といたしましては、この後地域福祉推進協議会において、計画素案の最終的な修正協議を行いパブリックコメントを実施する予定でございます。

本日、別途配付をさせていただきました、資料2-2、計画素案につきましては、この協議会への提出段階の内容で、パブリックコメントを実施する際の計画素案とは若干異なる可能性があることをご承知お祈いします。

それでは、資料2-2、素案の簡単なご説明をさせていただきます。表紙から4枚おめくりいただいたところに目次がございます。計画は5章立てで、その後に資料編がつきますが、この計画素案では省略をさせていただいております。

第1章が計画の概要、第2章が現状・課題のまとめ、第3章が基本理念と基本目標、第4章が基本目標ごとの地域福祉施策の展開となり、第5章が計画推進体制となります。

それでは、16ページをごらんください。本計画では、牧之原市が目指す将来都市像や国の地域福祉に係る動向を踏まえ、「市民一人ひとりと地域が創る幸せあふれるまち」を基本理念にかかげ、17ページのとおり四つの基本目標として、まず、1、福祉への関心と理解を深めてもらう助け合いの心、そして2、地域での交流や活動に参加していただける人づくりを目指し、3番目として、地域における活動を継続的に行っていくための仕組みづくりを進めます。そして、地域における活動を支える環境を整えるため、市や社会福祉協議会において体制や制度の充実、強化を図ることとし、次の18ページの計画の体系のとおり、九つの地域福祉施策の柱を定めてまいります。

22ページ以降が地域福祉施策ごとにおける、市民、地域、社会福祉協議会、そして行政の取り組みを見開きページでお示ししております。

説明は以上となります。

○議長（太田佳晴君）

説明は終わりました。質問はありますか。

植田議員。

○9番（植田博巳君）

地域を単位にしてこういうのをつくったと思うんですけども、どんな地域単位を基本にしてこの資料ができていますか。

○議長（太田佳晴君）

社会福祉課長。

○社会福祉課長（櫻井康章君）

計画上におきまして、地域の区割というものは設けてございません。ただし、8ページをごらんいただきたいと思っておりますけれども、中の活動につきましては、今回の基本理念であります、「市民一人ひとりと地域が創る幸せあふれるまち」につきましては、国が提唱しております、地域共生社会を実現するということでございまして、そのキーワードの中には、我が事・丸ごとが示しているとおり、地域でのいろんな問題を我が事として捉え、それを丸ごと受けとめていくというような地域の体制づくりも望まれております。

そういった意味では、この地区に沿った形での、10地区今こちらにはありますけれども、こういった中で、日ごろから社会福祉協議会が小地域における地区社協づくり、組織づくりを進めておりますので、そういったものを支援しながら進めていきたいと考えております。

○議長（太田佳晴君）

植田議員。

9番（植田博巳君）

この10地区について、自治会等に聞き取りしたりなんかして、地域の特徴を把握してやられて

いるということじゃなくて、10地区単位でどんな形で地域の特徴をつかまえてやっているんですかね。

実は、きのう、保健師さんとの勉強会の中で、保健師さんが地区割制ということでやられていまして、非常に地区ごとのいい特徴を、医療とか介護の分野だけではなくて、いろんな形で収集して、報告がきのう1時から5時ごろまでかかったんですけども、お聞きしました。

そういうものを十分利用して、こういうところに反映していったほうが、せっかく市のほうでいろんな分野で地域の特徴をつかまえていると思うので、その辺を含めて、やっぱりこういった福祉計画をつくったほうがいいのかなどというふうに思ったものですから、ちょっと質問させていただきました。

○議長（太田佳晴君）

社会福祉課長。

○社会福祉課長（櫻井康章君）

先ほど、若干触れさせていただきましたけれども、今回のテーマが我が事・丸ごとというものでございます。地域で起きております、さまざまな問題を他人事ではなく、我が事として捉え、子供、それから高齢者、障害者など、分野別の相談をこれから全体の心配事として丸ごと受けとめていくといった体制づくりが必要だと考えております。

こういった中では、たまたま地区社協という形で社会福祉協議会が区ごと、もうちょっと小さい区域になるかもしれませんが、地区社協という組織をつくって、その運営支援を行っております。

まだ、そういった組織が立ち上げられていない地域もあると聞いておるんですけども、そういったところを含めて、今後一層社会福祉協議会のそういった活動を支援していくとともに、分野別、それから縦割りであった体制や制度の見直しを図りまして、有効的活用できるよう、庁舎内はもとより、社会福祉協議会、それから関係機関と連携をしまいたいと考えております。

○議長（太田佳晴君）

植田議員。

○9番（植田博巳君）

ぜひ、連携をとって、一つの部署だけだとちょっとわからない部分があると思うので、役所はいろんな部署がありますので、それが地域とかかわっていると思うので、いろんな部署と連携をとってやっていただければと思います。

○議長（太田佳晴君）

ほかに質問はありますか。

ただいまの2件については、本来であれば常任委員会でということなんですけれども、今月は定例会があつて常任委員会がなかったものですから、こういった形の報告になりましたけれども、また、それぞれ委員会のほうで対応していただければと思いますので、お願いします。

ありがとうございました。

それでは、最初市長から報告がありました4件、それとほかの件についても、総括的に質問ありましたら、お願いします。

平口議員。

○5番（平口朋彦君）

ささいなことなんで、一番最後にしようかなと思ったんですけど、誰も挙がらないので。中国訪問の件なんですけど、市長のお話にもありましたし、このレジュメにもあるんですが、海南省「ばんねい市」さんと、一番うしろの資料だと「まんねい市」と書いてあるんですよ。海外のまちの名前なので、はっきりとした正解はないと思うんですけども、どっちでも通用すると思うんですけど、どちらかといえば、どちらがメジャーなのかどうか。私もよそで恥をかきたくないんで、メジャーなほうで言いたいなど。

○議長（太田佳晴君）

情報交流課長。

○情報交流課長（大石佳伸君）

一般的には「ばんねい市」ということで、日本読みですと「まんねい市」ということになりますけれども、「ばんねい市」ということで、世界では言われていると思います。

以上です。

○議長（太田佳晴君）

ほかに。

中野議員。

○13番（中野康子君）

2点お聞かせください。先月ですけれども、全協のこの場で、MIJBCの関係で、市長たちが訪問した後、今年度1,160万という予算が示されている中で、そこら辺までのお金が、どのような形で使われているのかというのを、お示しいただきたいというふうにお願いをいたしましたけれども、今回、この報告の中にもないし、協議会の中のレジュメにもないものですから、これは一体どうなっているんだろうということでございます。ぜひ、それは全員協議会の中で皆さん承知をした話でございますので、お願いをしたいと思います。

それから、以前、東先生がお亡くなりになりました。それで、このことは県の教育長が県立大学の学長のころ、市の議会へ来てくださって、県と市で地域のあり方を見つけていくというようなことで、共同で取り組みながらやっていくというようなお話の中で東先生が県大のほうから牧之原市のほうへいらしたという思いがございますけれども、現在お亡くなりになってしまって、その後の県大との関係というのは、どのようになっているのかお知らせください。

○議長（太田佳晴君）

市長。

○市長（杉本基久雄君）

1点目のM I J B Cの事業報告の関係につきましては、担当部長がいますので、担当部長のほうから報告させます。

それから、2点目の東さんの件に関しましては、県大と話をしておりますが、一応平成30年度が5年の任期というようなことをごさいますして、今、その後、直接派遣の先生はいなくなっているんですが、継続して事業のほうは行っていただいているという状況でございます。

そして、来年度以降につきましても、国の補助事業がなくなるのですが、これまでと同様とまではいかないかもしれませんが、県大との交流事業は続けていくということでお話をさせていただいております。

○議長（太田佳晴君）

産業経済部長。

○産業経済部長（辻 良典君）

済みません、中野議員からのご質問なんですけれども、前回の全協のほうでご指摘いただきました件につきまして、こちらのほうでも準備をさせていただいております。今進めております。それができ次第ご報告ということで考えておまして、本日についてはご報告の日にちを設けませんでしたので、また改めて皆様にご連絡させていただきたいと思っております。

○議長（太田佳晴君）

それでは、資料として報告してくれるということですか。

経済産業部長。

○産業経済部長（辻 良典君）

ご指摘いただいたものを、明細とか領収という関係になりますので、それぞれにお渡しすることとはちょっと難しいかなと考えておりますので、どのように提示したらよろしいか、またご相談をさせていただきたいと思っております。

一覧表とか、そういうものはございますけれども、それぞれの資料については別立てになりますので、少しその点またご相談をさせていただければと思っております。

○議長（太田佳晴君）

よろしいですか。

ほかに質問はありますか。

〔「なし」と言う者あり〕

○議長（太田佳晴君）

それでは、ないようですので、以上で市長報告を終わります。

ありがとうございました。

○議長（太田佳晴君）

次に、会議等の結果についての報告になりますけれども、まず私のほうから報告させていただきます。

11月19日、議会報告会、細江コミュニティセンターということですが、これをもって6会場での議会報告会が終わりました。今回、市民の皆さんから議会に対してのご意見、また報告会に対してのいろんなご意見いただいておりますので、現在各班の班長から取りまとめが提出されておりますので、今月の12月20日の議運のほうで、また取りまとめを今、準備しております。

11月27日、浜岡原子力発電所安全等対策協議会視察研修、27日、28日と行ってまいりました。四市対協は、御前崎、牧之原、掛川、菊川のそれぞれ首長、議長が参加ということなんですけれども、今回、掛川についてはちょうど天皇陛下がお見えになりまして、市長また議長が参加できなく、副議長が参加いたしました。また、御前崎の議長も所用でということで欠席となりましたので、ほかの首長、議長で視察をさせていただきました。

私も今回初めてだったんですけれども、福島第一原子力発電所の水素爆発をしたその後の廃炉に向けての状況視察、また近隣のまちの復興状況、こういったことで目的に視察に行っていました。

水素爆発を起こした一号機、三号機、五号機については、今後30年から40年かけて廃炉作業が進むということで、まだ途上ではありますけれども、長い道のりだなというような実感を持ちました。

二日目なんですけれども、バスに乗りまして周辺の檜葉町、富岡町、また大熊町という聞きなれた町をバスで視察したんですけれども、非常に極端に思ったのは、まだ当時の事故のまま、もちろん民間、JA、いろんな施設がそのまま残っていると。それを目の当たりに見まして、大変厳しい現実だなということは思い知らされました。というような部分と、もう一つは力強く町が復興に向けて変わっているという、そんな状況もありましたので、今後に向けて復興がどのような形で進んでいくかというのは、非常に興味深く感じました。

特に、まだ除染中ということで、田畑の中に黒い除染の袋があった、そういったところのかなり点在をしておりました。

12月2日は地域防災訓練ということで、議員については安否確認、その後は地域の訓練参加ということでお願いをしました。また、私は速やかに登庁しまして、安否確認の報告を受け、また事務局で今後の対応についていろいろ話をさせていただきました。お疲れさまでした。

11月29日、子育て支援センターの開所式。これは、健康福祉センターさざんかを改修しての子育て支援センターの開設ですが、当日は大変親子で明るい雰囲気で行われました。参加しました議員の皆様には、お疲れさまでした。

12月8日は、静浜基地のクリスマスコンサートということで、ことし、大井川町が焼津市と合併しまして10周年を迎えます。それと、静浜基地の60周年記念、これを合わせてコンサートということで案内がありましたものですから、私と副議長とともに出席させていただきました。

周辺の首長、議長、国会議員、また市民の皆さんでにぎわっておりましたけれども、演奏のほうは航空自衛隊中部航空音楽隊が、大井川の文化会館ミュージコで行われました。

翌日、9日ですけれども、同じく場所は、会場が大井川のミュージコですけれども、焼津市大井川町合併10周年記念の式典ということで、同じように国会議員、また周辺の市長、議長が参加しました。牧之原市は私と横山副市長とともに参列をさせていただきました。

12月15日は榛南一市一町の住民安全大会ということで、これは地域が一体となりまして、交通事故、犯罪、暴力のない、安心安全なまちづくりのために目的として毎年行われております。吉田町と牧之原市、一市一町なんですけれども、去年は牧之原市でやられましたように、去年は牧之原市、ことしは吉田町ということで、勤続交通指導員の表彰、また防犯、交通安全功労賞、また、ポスターコンクールといった表彰が行われました。吉田町の学習ホールです。

私のほうからは、報告は以上です。

他、上から関係議員の報告をお願いいたします。

村田議員。

○10番（村田博英君）

11月28日ですが、榛原総合病院の組合例月出納検査を行いました。同時に半期の検査も行いました。諸書類、伝票、その他ともに問題はございませんでした。

以上です。

○議長（太田佳晴君）

中野議員。

○13番（中野康子君）

11月20日、定期監査がございまして、これが定期監査の最終日でございました。

11月22日、例月の現金出納検査がありまして、いつもの例のごとく全く問題なく、きちんと精査されておりました。

定期監査につきましては、商工会は済ませましたけれども、観光協会のほうは、まだ役員さんがかわったばかりだということで、定期監査のほうは済んではおりません。今後、定期監査をやる予定でおります。

それから、12月5日、牧之原市菊川市の学校組合の臨時会がございました。これは、牧之原市の小学校の空調設備整備事業費、それから貯水槽のポンプ電源設置工事、それから31年4月から道徳の授業が始まるために、先生方に教科書の内容を勉強するというようなことで予算がとられております。

2,221万1,000円の補正予算でございました。

以上でございます。

○議長（太田佳晴君）

大井議員。

○7番（大井俊彦君）

11月28日に駿遠学園の管理組合の定例会がございました。内容は、前年度決算の認定、それから補正予算でございますけれども、原案のとおり可決されました。

以上です。

○議長（太田佳晴君）

次、お願いします。

鈴木千津子議員。

○15番（鈴木千津子君）

きょうの午前中、10時から、御前崎市牧之原市学校組合ということで、御中の学校組合の議会がありました。

議案は2件ありまして、補正予算の33万円の追加と、それと学校教育委員会の委員の任命ということで、吉村勝さんという方が、今現在3期目を務めておられるんですけども、この後、1月16日から4期目ということで承認されました。

補正予算のほうも全員賛成ということで、一応承認になっております。

以上です。

○議長（太田佳晴君）

12月12日の都市計画審議会は、報告はありますか。

名波議員。

○8番（名波喜久君）

12月12日の都市計画審議会です。一つは議案として、今度高台開発、その関係の土地の関係の地目変更の関係、その辺の報告であります。

それから、もう一つは海岸関係の活性化に向けた計画、それについての報告がありまして、これから進めていきたいと、そういう報告がありました。

全ての計画につきましては、そのときに新しく委員が決まったものですから、そこで委嘱状が皆さんに渡されたと、そういうことであります。

以上です。

（2） 議会運営委員会

○議長（太田佳晴君）

次に、議会運営委員会委員長、お願いします。

大石議員。

○14番（大石和央君）

議会運営委員会です。

そこに、11月26日と12月3日ですけども、それぞれ3件ずつありましたけれども、これは既に報告済ですので、そしてまた資料配付もしておりますので、特に新たなことはありませんので、

以上で終わります。

(3) 総務建設委員会

○議長（太田佳晴君）

次に、総務建設委員会委員長、お願いします。

○8番（名波喜久君）

総務建設委員会ですけれども、先日の議案付託の関係、その付託が終わった後で、総務建設委員会を開催しまして、今度、始め予定では来年提言を提出したいと、まとめてやることに決めてありましたけれども、急遽、一年たちまして、来年また夏をすぐ迎えるということで、海水浴客も大分減っているということでもあります。そういうことで、とにかく今度の夏に向けて、提言をとりあえず出しておきたいということで、絞った中で海岸の関係の海水浴客、その誘客に対しての提言を出したいということで、きょう、この後でまた提言内容について検討していく予定であります。

以上です。

(4) 文教厚生委員会

○議長（太田佳晴君）

文教厚生委員会委員長、お願いします。

○7番（大井俊彦君）

12月12日に付託議案審査を行いました。審査の内容は、本会議最終日の委員長報告で報告いたしますけれども、付託された議案のうち、議案第60号「牧之原市印鑑条例の一部を改正する条例」で、市民生活部より補足説明があり、その中で、参考資料が配付されました。本日、総務建設委員会の皆さんにも配付をいたしておりますけれども、お手元に二つあります。一つは事務委託契約書、一つは事務委託仕様書となっております。

これにつきましては、今後審議を行っていく上での参考にしていただければと思いますので、ごらんをいただきたいと思います。

それから、昨日、12月16日に、先ほど植田委員からもありましたけれども、効果的な地区活動を学ぶ研修会と題する、牧之原市が実施している保健師さんの地区担当制の活動の中間発表がありました研修会へ参加いたしました。大変参考になりました。

これにつきましては、今後の所管事務調査であります生涯健康システムの構築に向けての参考にしていきたいということで、また、次回は来年の2月に同じく研修会が開催されるということですので、そちらのほうへも参加をしていきたいというふうに思っております。

以上です。

(5) 議会広報特別委員会

○議長（太田佳晴君）

次に、議会広報特別委員会委員長、お願いします。

○6番（藤野 守君）

議会広報特別委員会の報告をいたします。

12月10日、第53号、2月15日発行分の研修の会議をいたしております。ページの構成、割り振り、ページごとの構成を決定しております。

原稿の関係、もう既にご案内のとおりですが、ぜひまた時間、お忙しい中とはいえ、日時を確認していただいて、その日までにぜひ出していただければと思います。

よろしくお願いします。

以上です。

（6） 議会改革特別委員会

○議長（太田佳晴君）

次に、議会改革特別委員会委員長、お願いします。

○15番（鈴木千津子君）

議会改革特別委員会ですけれども、12月14日、一般質問の終わった後ですけれども、ワーキンググループ1と2の班長会議をいたしました。内容につきましては、今後のスケジュール等ということで、本来は12月までに各グループのまとめをとということでしたが、なかなか日程の調整がとれないということで、1月にまた内容を詰めることとか確認すること等、作業を行うということでありまして、2月に一応最終報告をしたいということです。

そして、6月の議会において、なるべく上程できるものがありましたら上程を目指すということで、一応確認いたしました。

以上でございます。

（7） 政策立案推進部会

○議長（太田佳晴君）

次に、政策立案推進部会部会長、お願いします。

○13番（中野康子君）

11月29日に政策立案推進部会のワーキンググループ1と2で合同で取組状況について、それぞれの座長からお話をいただきました。

ワーキンググループ1は地域の育成プロジェクトが3年目になるということで、高校生を対象にやっているんですけれども、これから教育委員会と話し合いをしながら、地域のことをもっと学んで、そして地域をもっと若者に住み続けていただきたいというような条例の制定に向けて、今頑張っているという報告でございます。

ワーキンググループ2のほうでは、牧之原市議会の議員の長期欠席等に関する議員報酬の特例

に関する条例について、今細かく練っているところでございます。いずれ、皆様方に細かい部分で発表させていただく予定であります。

以上でございます。

○議長（太田佳晴君）

ありがとうございました。

ここまでの報告の中で質問がありましたら、お願いします。

〔「なし」と言う者あり〕

○議長（太田佳晴君）

よろしいですか。

4 協議事項（1） 人事院勧告に基づく議員の期末手当の取り扱いについて

○議長（太田佳晴君）

それでは、次の4番、協議事項に移りたいと思います。

まず、（1）の人事院勧告に基づく議員の期末手当の取り扱いについてということですが、先月の全員協議会の中で人事院勧告が決まりましたら議会の期末手当の対応をどうするかということで、皆さんに協議していただきました。議会では人事院勧告に従うと。そして、その後報酬審にも今回はかけるということで方向性を確認してあります。

その後、人事院勧告がなされまして、最終日に議会としての提案説明をもって上程するわけですが、その件について、もし全員が賛成ということならば、あえて署名の必要はないんですけれども、今回はどうでしょうか。

全員賛成ということでよろしければ、そのようにしたいと思いますけれども。

〔「異議あり」と言う者あり〕

○議長（太田佳晴君）

異議があるということですので、事務局に署名する用紙が準備してありますので、賛成していただける議員の皆さんは、きょうも既に準備してありますので、なるべく早く署名のほうをお願いしたいと思います。

それで、提案説明のほうですけれども、今までですと、副議長のほうから提案説明をしておりますけれども、今回もそれでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

○議長（太田佳晴君）

それでは、副議長お願いします。

4 協議事項（2） 議員報酬、議員定数、政務活動費の今後の検討について

○議長（太田佳晴君）

それでは、次に（2）の議員報酬、議員定数、政務活動費の今後の検討についてということで、

お願いします。

資料が入っていると思いますけれども、議会改革特別委員会のワーキンググループ3でこの件については進めてまいりましたけれども、ワーキンググループでの協議は、一応まとめるところがまとめたということで、特別委員会のほうで、今後は全員協議会で議長のほうからという指示がありました。正式に委員長のほうから、取りまとめを私のほうにいただきまして、今後は全員協議会で進めさせていただくということになっております。

それで、来年からこれについて検討を進めていきたいと思いますけれども、それについて、きょう確認させてもらいたいのは、今後のスケジュール、これをしっかり明確にした中で、今後順番を追ってやっていきたいと、そのように考えております。

私の考え方としますと、ワーキンググループ3で既にかかなりの検討がなされておりますので、また同じ議論にならないように、手戻りにならないようにしっかりと確認をしながら進めていきたいと、そんなふうに思っております。

それと、北上市での視察、皆さん大変参考になったかと思っておりますけれども、そういったことも踏まえてスケジュールを立てましたけれども、基本的な考え方ですけれども、(1)に示してありますように、できれば報酬と定数は、まずは切り離して考え、最初に定数について方向性をまとめていきたいと、そのように考えております。

理由としますと、どうしても定数削減が報酬アップの条件とする懸念があるためと。

まずは、報酬についてということで、方向性をまとめていきたいと思っております。

それは、北上市でもそうでありましたように、定数の削減が報酬アップの条件になってしまう懸念があるためということで、ここに書いてありますように、まず上げる根拠を、いろいろワーキンググループ3でも検討がなされておりますけれども、それをしっかりと整理をしていくと。それと、上げる金額について、また上げる時期、そしてやはり議会の方向性がしっかりとまとまったところで、これは市民へしっかりと説明をして理解を得るということが大切だと思いますので、この辺を経て、最終的な報酬審への諮問ということになるかと思うんですけれども、これは2019年9月中をめどに進めていきたいと、そのように考えております。

それと、定数についてですけれども、切り離すとはいっても、途中からある意味並行してということになるかもしれませんけれども、これもやはり来年の9月をめどに報酬がまとまり次第、速やかに検討というような形でいきたいと思っております。

これも、ワーキンググループ3で、かなりいろんな意見を出して議論してありますけれども、ここに書いてありますように、現在の定数に至った経緯分析、また周辺市、全国の状況分析、牧之原市の地域性を考えたときの定数、またこれもしっかりと市民へ議会の統一感を持って説明をしていかなければならないと考えておりますので、このような形で進めていきたいと思っております。

もう一つ、政務活動費につきましては、これもワーキンググループ3の中で一定の方向性は出ておりますけれども、やはり基本的には政務活動費は必要であると。でも、それは今後の議員活動のあり方についてということと、しっかりと踏まえた中で必要な部分を検討するということにな

っておりますので、これも報酬と定数の考えがある程度まとまった中で、皆さんから意見をいただきながら、活動の分析、議会活動のあり方を考える中で、方向性を出していきたいと。

このようなざっくりとした形で、私のほうのスケジュール案としてまとめてみました。一番やっぱり大事なことは、16人の議員がそれぞれ、この問題については考え方があるかと思います。でも、この中で皆さんで意見を出し合って、それで一つの方向性が出たときには、それに沿って16人がやはり進んでいかないと、市民の皆さんへの説明という、一番大事なクリアしなければならぬ部分がありますので、それについてはぜひ、それを念頭に置きまして、活発な意見を出す中で、決めるときには皆さんの一体感を持って決めていただきたいと思います。

でないと、やはりこの長年の懸案事項が牧之原市議会の統一見解としてまとまっていかないと、そんなふうに思いますので、ぜひともそのようなことで協力してほしいと思いますけれども、このようなスケジュールで、基本的なスケジュールですけれども、来年から進めていくということでご確認をしたいと思いますけど、もしご意見あれば、意見出していただいて、もしこんな感じでよろしければ確認をお願いしたいと思います。

どうですか、よろしいですか。

村田議員。

○10番（村田博英君）

報酬、定数、政務活動費、この検討ということでのスケジュールになるんですが、2019年9月というのは、9月というのは何かあるんですけど。

○議長（太田佳晴君）

私の、議長の任期が10月でございます。当初から言っているように、私の議長としての任期の中で、しっかりやっぱり公約的な部分がありますので、まとめていきたいと。

なぜそうかといいますと、例年そうなんですけれども、どうしても改選前になると、個々のやはり考え方というのが、どうしてもやっぱり皆誰もそうなんですけれども、これ、非常に市民に対しては厳しい部分の話にもなりかねないものですから、できれば前半の私の任期の中で方向性を出させていただきたいなど、そんなふうに考えております。

以上です。

それでは、このような形で、また時間を見て進めていきたいと思います。

全員協議会の日も、なかなかいろんな委員会等がありまして、スケジュールが組めない場合もありますものから、この件に関してということで、また招集をお願いすることもあるかと思っておりますけれども、協力をお願いしたいと思います。

4 協議事項 (3) 12月13日実施の一般質問に対する答弁の訂正について

○議長（太田佳晴君）

次に、(3) 12月13日実施の一般質問に対する答弁の訂正についてということで、お願いしたいと思います。

12月13日に大石議員のマイナンバー制度等ということで一般質問がありました。質問が終了しまして、休憩をはさみまして、総務部長から発言訂正の申し出が議長にありまして、それを私が許可をしました。

今回、発言の訂正がなされたわけなんですけれども、議会会議規則の61条におきましては、発言の訂正は、字句に限るものとし、発言の趣旨を変更することはできないとされているが、これは議会側のことであり、実際には当局側への答弁訂正の制限はされておられません。しかしながら、今回の発言の訂正は、一般質問の内容自体を変えるもので、大きな事案と考えられます。

よって、議会会議規則を当局側の発言に対しても準用しまして、本会議における、再度、最終日ですけれども、本会議において、再度質問時間を設けまして、補充質問をしたいと考えております。

なお、議会に補充質問という質問はありませんので、緊急質問ということをし、きょう、議員の皆さんにご理解をいただきまして、日程等については議会運営委員会の中で協議をしていただきたいと思います。

今回の件ですけれども、議長としまして、当局、総務部長からの発言訂正の申し出に対しまして、私が内容確認、また精査を十分に行わなかった結果でありまして、大石議員はもとより、議会の皆さん全員に議事進行上の議長としての不備の結果、このような結果になりました。

このことを大石議員はじめ、議員の皆さんにはおわびをしまして、今回、訂正をお願いしたいなど、そのように思います。

きょう、今回このようなことで確認していただければ、議員全員の同意をもってということで、最終日の日程を組んでいきたいと思っております。

もし、わからない部分で、質問、また考えていることありましたら、発言をお願いします。

もし、わからない部分があればもうちょっと細かく説明しますけど。

よろしいですか。

では、最終日、よろしくをお願いします。

20日の議運の日に、ちょっと前後しますけど、議会運営委員会の中で具体的な進め方については検討していただきます。よろしくをお願いします。

5 その他

○議長（太田佳晴君）

その他でありますけれども、その他で1件お願いします。

12月2日に防災訓練がありまして、今回、先ほど少し報告しましたけれども、議会の防災訓練の対応は、議員の皆さんは9時の発災後、速やかに議会に安否確認を報告すると。それで、私議長は、事務局に議会に来て、安否確認の状況を報告受けると、このような報告でございました。

その結果ですけれども、15分以内に報告があった議員の皆さんが5名、30分以内が7名、1時間以内が11名、報告なしが5名おりました。ということで、今回の議会として防災訓練が、議員

が一部参加していなかったというような結果になりましたので、この防災訓練は今後もずっと続いていきますので、それぞれの状況というのはあったかと思うんですけども、なるべく早く、サイレンが鳴ったら事務局に連絡してもらって、その日の日程に従って行動してもらいたいと、そのように思いますので、よろしくお願いします。

当日は、私、事務局のほうで議員災害行動手引書の見直しということで検討いたしました。それについては、今後、議運のほうで検討していただきまして、また皆さんにお示しして協議してもらおうということになるかと思います。

この件について何かありますか。

〔「なし」と言う者あり〕

○議長（太田佳晴君）

それでは、全体その他で何かありました、お願いします。

〔「なし」と言う者あり〕

○議長（太田佳晴君）

よろしいですか。

事務局、ありますか。

それでは、署名のほうは事務局でもう既に準備してありますので、お願いします。

それでは、以上で全員協議会を終了します。ありがとうございました。

〔午後 14時05分 閉会〕